



檮こずえの梢けやきから

学校・家庭・地域、みんなで考え取り組む「性教育」を始めませんか

町学校保健会養護教諭部会では、町の子どもたちが大人になった時、より良い家庭生活や社会生活を送ることを願い、一昨年度から、町の子どもたちや家庭環境などに適した性教育の実践に向けた義務教育9年間にわたる「性に関する学習プログラム」開発に取り組んでいます。

令和5年11月および12月には、健康福祉課の木村裕美主任助産師を講師に迎え、以下のような授業を通して、生徒は命の大切さや今後の自分の生き方について考えを深めました。

吉里吉里学園中学部



7学年内容

- ・思春期ってどんな時期？
- ・男女の違い
- ・より良い人間関係
- ・性の多様性
- ・他者との距離感



8学年内容

- ・デートDV
- ・SNSの危険性
- ・被害にあったら
- ・性暴力、性犯罪
- ・他者との距離感



9学年内容

- ・妊娠中の経過
- ・男女交際とライフプランなど
- ・性行為の危険性
- ・赤ちゃん人形抱っこ、おむつ交換、着替え
- ・【体験】・沐浴・心音聴取・妊婦疑似体験



9学年内容

- ・いのちの誕生
- ・性をめぐるトラブル
- ・思春期（第二次性徴）
- ・男女交際、デートDV
- ・（7・8学年でも別内容で授業実践済み）

大槌学園



この部会では、町に根差した持続可能な性教育の実践に向け、今後も「大槌町学校保健会だより」を発行して、各ご家庭の保護者の皆さまに授業内容をお伝えするとともに、二次元コードを利用したアンケートにより、保護者の皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしています。ぜひご協力をお願いします。（2月には、大槌・吉里吉里両学園4学年でも授業実践予定です）

祝 今年度も快挙！ 第19回 1.17 防災未来賞「ぼうさい甲子園」吉里吉里学園中学部がグランプリ受賞

兵庫県と毎日新聞社、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構が主催する「ぼうさい甲子園」は、今年度で19回目の開催を迎えました。阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に向けて継承していくため、学校や地域で防災教育や防災活動に取り組んでいる子どもたちや学生を全国から募集し顕彰するもので、このたび、全国から応募のあった5部門計77校・団体の中から、吉里吉里学園中学部が日本一となる栄えあるグランプリに輝き、令和5年12月23日(土)に兵庫県公館(神戸市)で表彰されました。

今回、「巾着で命をつなげ～HAPPY&SAFETYプロジェクト～」という取り組みを発表しました。給を入れた巾着を浸水区域に住む高齢者に配り、災害発生時にその巾着を持って避難し、避難してきた子どもたちに給を配る取り組みです。高齢者らの積極的な避難を促すようにした点が高く評価されました。受賞おめでとうございます。



インターネット通信環境が未整備のご家庭へWi-Fiルーターの貸し出しを始めます

町内各学園では、昨年度から1人1台ICT端末(iPad)のご家庭への持ち帰りを順次実施し、家庭学習での活用を推進しています。一方で、各ご家庭のWi-Fi(無線LAN)などの通信環境の整備状況により、持ち帰ったICT端末をインターネットへ接続して学習することが困難な状況も見受けられています。そこで、インターネット通信環境が未整備のご家庭を対象に、町教育委員会所有のWi-Fiルーター(通信接続機器)の貸与を、3月をめどに開始予定です。

【Wi-Fiルーター貸与の対象となるご家庭】

- ・現在、ご家庭のインターネット通信環境が未整備である
- ・令和6年度町内各学園に児童生徒が在籍する
- ※インターネット通信に必要なSIMカードの契約手続きや通信費用負担は、各ご家庭で行っていただきます。

詳細は各学園を通して改めてご案内します。
【お問合せ先】学務課 TEL 0193-42-6100

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！



大槌高校HPやnoteでも学校生活の様子を発信しています！

おおつちの“地域力”に支えられて

今回は、今年度、特に地域と深い関わりのあった探究活動である、1年生を対象とした「SIMulation おおつち」を紹介します。

地域課題の解決策を探究する！「SIMulation おおつち」

1年生は「三陸みらい探究」という授業の中で、大槌町の地域課題に対する解決策を提案する「SIMulation おおつち」という活動を行っています。令和5年10月24日(火)に、大槌町議会の芳賀潤議員、菊池忠彦議員、東梅守議員、澤山美恵子議員、阿部三平議員に本校を訪問いただき、テーマに関する説明をしていただきました。説明の後には、少人数のグループに分かれ、各議員と生徒の間で、地域の課題に対する質疑応答が活発に行われました。



大槌町議会に設定いただいた6つのテーマの現状を知るため、令和5年10月31日(火)には町役場や町内の事業所をめぐり、地域の皆さまからお話を聞かせていただきました。学んだ内容をもとに、解決策のアイデアをグループ毎に構想していきます。

高校生が構想する地域課題テーマ

テーマ①磯焼け対策

大槌町民の磯焼けへの意識を高め、大槌の海を守るための施策を考えよ

テーマ②若者の地元定着

若者の地元定着のための企業誘致と起業施策を考えよ

テーマ③(仮称)鎮魂の森の活用

震災の被害と教訓、復興への想い・感謝、希望を将来の世代につなげていくための(仮称)鎮魂の森の活用方法を考えよ

テーマ④消防団の担い手増加

地域の防災に関わる消防団の担い手増加のための施策を考えよ

テーマ⑤ふるさと納税

ふるさと納税を活用した町民サービス向上施策を考えよ

テーマ⑥若者の声を取り入れた地域づくり

若者の声を取り入れた地域づくりのための施策を考えよ

輝く大高生

大槌高校2年生の黒澤心結さん。ニュースでよく耳にする児童虐待について、将来保育士になりたいこともあり、マイプロジェクトのテーマにしました。心結さんに「マイプロジェクトと私」についてインタビューしました。



1年生は、マイプロジェクトに繋がる活動も楽しんでやることができず、「早く終わらせよう。なんとなくやっておこう」という気持ちが強かったのが正直なところ。そんな時、周りに頑張っている人たちが楽しそうに活動している姿を見て、「自分は何してるんだろうな」と思ったのです。そして、私も何か頑張ってみようかなと2年生になってから思うことが増えました。そこで、2年生に入って本格的に始まったマイプロジェクトを頑張ってみようと思いました。

マイプロジェクトを始める前は、大人全般と話すのが苦手でした。考えを押し付けられている気がして嫌だったからです。しかし、マイプロジェクトを始めるとたくさんの大人の人と話す機会がありました。ある保育園で園長先生にお話を聞き、帰ろうとしたときに「心結ちゃんが考えることだからこそ、できることがあると思うよ!」と言われたことが今でも心に残っています。高校に入学して適度に過ごしてきて、話すのも面倒だと思っていた中、自分の考えをもって相手に伝えることでこんな風に受け止めてくれる大人がいることに感動しました。そこから人と話すことに喜びを感じるようになりました。

またマイプロジェクトを始めたことにより、マイプロジェクト以外のことも「楽しんでやろう!」と思って取り組めるようになりました。

「マイプロジェクトは自分を見つめなおすスタートになると思う」そう語る心結さん。これからの彼女の成長が楽しみです。